

第61回 ALL ASIAN DXコンテスト規約 総務省後援

電信部門：2020年6月20日(土)09:00～22日(月)09:00

電話部門：2020年9月5日(土)09:00～7日(月)09:00

1. 開催日時(時刻はともにJST)

(1) 電信部門：2020年6月20日(土)09:00～22日(月)09:00

(2) 電話部門：2020年9月5日(土)09:00～7日(月)09:00

2. 使用周波数帯 アマチュアバンド：160m (CWのみ)、80m、40m、20m、15m、10m

3. 種目と電子ログで提出する場合のCATEGORY CODE

■アジアの局 (JA局を含む)

参加種目	CATEGORY	
シングルオペ	シングルバンド	ハイパワー SO160HP～SO10HP
		ローパワー SO160LP～SO10LP
	オールバンド	ハイパワー SOABHP
		ローパワー SOABLP
マルチオペ 【注5】	シングルTX	M/S
	マルチTX	M/M

■DX局 (アジア以外の局)

シングルオペ	シングルバンド	SO160～SO10
	オールバンド	SOAB
マルチオペ【注5】	シングルTX	M/S
	マルチTX	M/M

■JA局のみ

シングルオペジュニア	SOJR
シングルオペシルバー	SOSV

【注1】シングルオペは、コンテスト中の運用に関わるすべてのことを一人でおこなうものとし、それ以外はマルチオペとする。

【注2】ローパワーは出力100W以下。ハイパワーは出力の制限はなし。

【注3】ジュニアは年齢20歳未満とし、シルバーは年齢70歳以上。

【注4】マルチオペ・シングルTXでは、10分間ルール(CQ WW方式)を適用。10分間ルールとは、バンドを変更したときは受信時間を含めて少なくとも10分間そのバンドにとどまらなければならないというルール。ただしニューマルチを得る場合に限り、他の1バンドでの同じ送信が可能で、10分間ルールはランニングステーションとマルチステーション個別に適用する。

【注5】マルチオペの運用場所は一箇所とし、運用範囲は直径500mの円内とする。

4. 呼び出し (1) 電信の場合……CQ AA

(2) 電話の場合……CQ AA コンテスト

5. コンテストナンバー

(1) OM局：RST符号による信号レポートおよびオペレーターの年齢

(2) YL局：RST符号による信号レポートおよび“00” (ゼロゼロ) またはオペレーターの年齢

(3) マルチオペ局：RST符号による信号レポートおよびオペレーターの平均年齢またはオペレーターの年齢

6. 共通規約

(1) クロスバンドによる交信を禁止する。

(2) コンテスト中の運用場所の変更を禁止する。

(3) シングルオペおよびマルチオペ・シングルTXによる、同一または異なるバンドにおける2波以上の電波の同時発射を禁止する。ただしマルチオペ・シングルTXにおいてニューマルチを得る場合の異なるバンドにおける2波の電波の同時発射を除く。

(4) マルチオペの同一バンドにおける2波以上の電波

の同時発射を禁止する。

(5) レピータによる交信を禁止する。

(6) コールサインもしくはマルチプライヤーを受信信号の周波数情報と共にオペレーターに知らせるあらゆる技術、たとえばWebクラスター、CWスキマー、リバースピーコンネットワークの使用を認める。

(7) 自局の運用情報をWebクラスターにアップロードするセルフスポッティングやスポットを依頼する行為を禁止する。

(8) リモート運用は、すべてのアンテナ、送信機、受信機がひとつの所在地に収まっている場合にのみ許される。すべてのリモート運用局は、局免許、オペレーター免許、および該当参加部門のルールに従うこと。

(9) 送信機、受信機、アンテナを設置した無線局の所在地外に位置するリモート受信機の使用は禁止する。

(10) コンテスト終了後に、データベースや録音、電子メールまたはその他の手段を使って交信ログを作ったりあるいは交信を確認したり、コールサインやナンバーを修正することを禁止する。ただし、手書きログを電子ログ化する作業は、これに含まれない。

7. 得点およびマルチプライヤー

(1) アジア州の局

①得点 完全な交信の得点は次のとおりとする。ただし、同一エンティティー内の局との交信は得点にもマルチにもならない。また、同一バンドにおける同一局との重複交信(同一局との2回以上の交信をいう)は、1回の交信を除き、得点にならない。

- ・160m……………交信相手がアジア州の局では3点、アジア州以外の局では9点
- ・80mおよび10m……交信相手がアジア州の局では2点、アジア州以外の局では6点
- ・その他 交信相手がアジア州の局では1点、アジア州以外の局では3点

②マルチプライヤー 各バンドで交信した局の「DXCCリスト」による異なるエンティティー数

(2) アジア州以外の局

①得点 アジア州の局(駐日米極東軍補助軍用無線局を除く)との完全な交信の得点は次のとおりとする。ただし、アジア州以外の局との交信は得点にもマルチにもならない。また、同一バンドにおける同一局との重複交信は、1回の交信を除き得点にならない。

- 160m：3点、80mおよび10m：2点、その他：1点

②マルチプライヤー

各バンドで交信したアジア州の局の「WPXコンテストルール」による異なるプリフィックス

(3) JD1局の取り扱い

①小笠原諸島および沖ノ鳥島は、アジア州の局とする。

②南鳥島は、オセアニア州とする。

(4) MM (公海上) の局

運用場所のいかん(アジア州内外)に関わらず、アジア州の局との交信のみを有効とし、MM局として得点は掲載するが、順位付けはしない。MM局との交信は、得点をアジア州同士の交信と同一とするがマルチはカウントできない。

8. 総得点の計算方法

(1) オールバンドの場合：〔各バンドにおける得点の和〕×〔各バンドで得たマルチプライヤーの和〕

(2) シングルバンドの場合：〔当該バンドにおける得点の和〕×〔当該バンドで得たマルチプライヤーの和〕

9. 書類の提出

(1) サマリーシートおよびログシートの提出方法

①電子ログ(E-mail)による場合：電子ログによる提出の場合、所定の様式(JARL Web参照)で作成したテキストデータあるいはキャブリロ(Cabrillo)形式をメールで提出先アドレスに送信する。記憶媒体(3.5インチフロッピーディスク、USBメモリ、CD-R、DVD-R、SDカード(mini-SD、micro-SD))による提出の場合、電子ログによる提出と同様の形式のデータを記憶媒体に入れて郵送する。封筒には「(記憶媒体の名称) 在中」と朱書きで記入すること。なお、記憶媒体は返却しない。

②紙ログの場合：JARL制定の「サマリーシート」および「ログシート」(または同形式のもの、A4判)を使用し、必要事項を記入して提出する。また、紙によるログ・サマリーは記入項目が手書きのもののみを受け付けることとする。

③書類は、各部門(電信部門/電話部門)にて、1種目のみに提出すること。

もし、その種目において、2以上の局で参加したときは、そのいずれかの1局に限っての提出とする。

(2) サマリーシートおよびログシートの記入上の注意

①マルチオペの場合：全オペレータのコールサイン(コールサインがない場合は氏名)をJARL電子ログ形式では<MULTIOPPLIST>に記入する。(JARL Web電子ログサマリー作成ページでは「マルチオペ、ゲストオペの場合の運用者のコールサイン(氏名)」)、キャブリロ(Cabrillo)形式ではOPERATORS：に全オペレータのコールサイン(コールサインがない場合は氏名)を記入する。紙ログの場合はサマリーシートの意見欄に記入すること(同欄に全部記入できない場合は、サマリーシートの裏面または別紙に記入する)。2波の場合は、2系列の送信波ごとに時間順に並べること。

②ジュニアまたはシルバーの場合：年齢をJARL形式電子ログサマリーでは<COMMENTS>に、キャブリロ(Cabrillo)形式ではSOAPBOX：に記入すること。紙ログサマリーシートでは意見欄に記入すること。

③時間はUTCを使用する。

④マルチプライヤーの欄には、各バンドで新規に交信した局のエンティティまたはプリフィックスを1回のみ記入する。

(3) 提出締切日 ①電信部門2020年7月22日

②電話部門2020年10月7日

(4) 提出先

●電子ログ(E-mail)による場合

電信部門 aacw@jarl.org 電話部門 aaph@jarl.org

●郵送の場合 〒170-8073 JARL ALL ASIAN DX
コンテスト係

(5) 入賞対象局について、次に掲げる資料等の提出を求める場合がある。

①交信または受信時に記入したログ(オリジナルログ)

②送信機の名称、測定出力など運用時のデータ

③マルチオペ種目のオペレータの無線従事者資格の確認資料(無線従事者免許証のコピー)

(6) 個人情報の利用について

JARLは、個人情報を取得した際の利用目的の範囲内でJARLの実施するコンテスト業務遂行(集計・審査・証状発送)のために利用する。

10. 賞

(1) 参加種目のエンティティ(U.S.A.はUS CQ Zoneの3, 4, 5)ごとの参加局数に応じて賞状を贈る。

①10局以下の場合…1位	②11局～20局の場合…2位まで
③21局～30局の場合…3位まで	④31局以上の場合…5位まで

(2) 各種目上位50%以内にある日本(JA)のコールエリア第1位のJARL会員局に賞状を贈る。ただし、(1)の賞状を贈る局には発行しない。

(3) シングルオペ・オールバンド種目の各大陸第1位の局には、総務大臣賞状(予定)を贈る。

11. 失格事項等

(1) ログシートに記載されている交信または受信局のコールサイン等について審査の結果、明らかに虚偽の記載が認められた場合は失格とする。

(2) この規約に定める事項に違反した場合は、コンテスト審査において処分を決定する。この処分とは、減点、警告、エントリーのチェックログへの移行、失格等を言う。

(3) (1)、(2)及びコンテスト結果に対して異議の申し立てを受け、裁定の結果失格となった局は、失格の日から3年間はJARL主催コンテストに参加しても入賞を認めない。

(4) 失格の局は、コールサインおよび失格の理由をJARL NEWSに発表する。

12. JARL登録クラブの得点および順位等

JARL登録クラブの構成員(日本国内から参加したシングルオペならびにマルチオペ局1局)から申告された総得点をクラブごとに集計の上、順位を決定する。

13. 結果発表

両部門とも2021年3月ごろJARL Web、JARL NEWS等で発表予定